

# Urban Safari

[アーバンサファリ]  
Mar.2018 Vol.02

Cover Story  
ライアン・レイノルズ

Luxury FIRST CLASS

今度の旅は  
ファーストクラスで。

Heritage Heroes REBORN

憧れていたクルマが  
“新車”で乗れる贅沢。

Great EXPLORE

未知なる  
アジアリゾートとは!?

Premium Items  
you should definitely have.  
上質を求めて。

# Kevin Deters & Stevie Wermers-Skelton

ケヴィン・ディーターズ&スティーヴ・ワーマーズ=スケルトン

文＝猿渡由紀  
text:Yuki Saruwatari

## Contents

- 10 Cover Story ライアン・レイノルズ
- 13 in Your Closet
- 20 リッチな春らしさの演出は軽快なグレースーツで。
- 24 時計を語るよりユーモアを語ろう。
- 32 Luxury FIRST CLASS
- 35 Great EXPLORE
- 37 Heritage Heroes REBORN
- 38 Lovely SAKURA SWEETS
- 39 Safariを読むなら、定期購読をおすすめします!

### “アナ雪”の世界を継承する プレッシャーの大きさはいかに!?

アニメ映画史上最大ヒットとなった『アナと雪の女王』の続編は、来年公開予定。そこまで待てない世界中のファンのために作られたのが、『アナと雪の女王／家族の思い出』だ。ピクサーの長編映画『リメンバー・ミー』と同時上映される22分の特別編なのだが、だからといって楽に作れるというものではない。その大役を任されたのが、ケヴィン・ディーターズとスティーヴ・ワーマーズ=スケルトンだ。映画『ベイマックス』や『ズートピア』などに関わってきた2人だが、監督に抜擢されたのは、これがはじめて。

「観客が共感してくれるストーリーにすることが第一。僕自身にも子供が3人いる。我が子がこの映画を見たとき、どう反応するだろうかと常に考えていたよ。それ以外の心配はしないようにしたね」とディーターズが言うと、ワーマーズ=スケルトンも「そうじゃなきゃ、凍っちゃうわよ」と笑う。このチームワークと人当たりのよさも、彼らが選ばれた理由だ。プロデューサーのロイ・コンリは、2人のおかげで、この映画の製作チームには家族のような雰囲気できたこと感謝の意を示す。そもそも、邦題が示唆するとおり、今作はまさに、家族がテーマなのだ。舞台も、家族が集まるホリデーシーズンである。

「クリスマスの時季に自分が何をやるのかについては、みんなで相当話し合ったね」と言うディーターズ家の伝統は、「毎年、母が焼いてくれたのと同じクッキーを焼くこと」。一方ワーマーズ=スケルトンは、「ツリーを飾るのが家族の中の私の役目」だ。両方とも、映画にしっかり登場する。

アナとエルサには両親がいないのだが、そこがまさにポイント。「今の世の中にはいろんな家族が存在する。今作の登場人物がお互いを見つけたのは、素敵なことだ」とディーターズ。幼い娘を連れて見に行ったら、自分のほうが何かを感じてしまった。それをやってみせたのだから、この2人は立派に任務を果たしたということだ。

### 『アナと雪の女王／家族の思い出』

国内動員2000万人を超えた“アナ雪”の最新作は、22分の特別編。『リメンバー・ミー』の同時上映作品として3月16日(金)より劇場公開。  
原題:OLAF'S FROZEN ADVENTURE  
監督:ケヴィン・ディーターズ&スティーヴ・ワーマーズ=スケルトン  
製作:ロイ・コンリ 声の出演:イディナ・メンゼル/クリステン・ベル

©2017 Disney

発行人 Publisher  
榊原達弥  
Tatsuya Sakakibara  
編集長 Editor in Chief  
藤原 晃  
Akira Fujiwara  
広告部長 Advertising Director  
成井 毅  
Tsuyoshi Narui

コントリビューティング・エディター&ライター  
Contributing Editors & Writers

糸田麻里子  
Mariko Itoda  
大嶋慧子  
Keiko Oshima  
金子浩久  
Hirohisa Kaneko  
古関千恵子  
Chieko Koseki  
猿渡由紀  
Yuki Saruwatari  
たかせ藍沙  
Aisha Takase

アートディレクター  
Art Director  
藤澤拓也  
Takuya Fujisawa (ANAGUMA)  
デザイナー  
Designer  
渋江裕子  
Yuko Shibue (ANAGUMA)

Cover photo  
Robby Klein Contour by Getty Images

発行  
株式会社日之出出版  
〒104-8505 東京都中央区八丁堀4-6-5  
編集 ☎03-5543-1135  
広告 ☎03-5543-1131

●本紙掲載商品の価格表示はすべて本体のみ(税抜き)の価格です。  
●本紙内の記事及び写真、イラストなどの無断複写、複製、放送などを禁じます。  
●本紙の編集内容に関するお問い合わせは編集部直通 ☎03-5543-1135 までお願いいたします。  
なお、土・日・祝日はお休みとなっております。

## 特

別華やかでもないのに、なぜかモテるヤツ。俳優ライアン・レイノルズは、ずっとそんな存在だった。スカーレット・ヨハンソンが最高にホットだった頃に、彼女を妻にしてみせたのも彼なら、その前の婚約者はアラニス・モリセツト。どちらも、米「ピープル」誌から「生存する最もセクシーな男」に選ばれるより前の話である。

バンクーバー出身。カナダの若者向けテレビドラマでデビューし、ハリウッドに進出してからは、小粒なコメディやホラーが続いた。スーパーヒーロー映画の主演をはじめて獲得して注目されたのは2008年

のこと。だが、その映画『グリーン・ランタン』は、批評面でも興行成績でもがっかりの結果に終わってしまう。そこから、彼のキャリアもスランプに入ってしまった。

「だけど、『グリーン・ランタン』には、素敵な副産物もあったんだよね。僕には甥や姪がたくさんいるけど、公開前から彼らが知っている映画に出たのは、あれがはじめてだったんだよ。甥は、公開前からしょっちゅう映画のことを聞いてきた。グリーン・ランタンの指輪が

欲しいと言われて、あげると約束したのに忘れていて、それを撮影終了直前に母が思い出させてくれて、あわてて小道具係にもらいに行ったりしたよ」

そんな彼は、2年前、別のスーパーヒーロー映画で見事なリベンジを果たした。『デッドプール』は、レイノルズが2004年から構想を抱いてきた情熱の1作。『ウルヴァリン：X-MEN ZERO』(2009)でも同じ役を演じたが、彼はそれより前から自分の手でこのキャラクターの映画を作ろうと、努力していたのである。

「俳優には、自分のキャリアを定義するひとつの役というのがある。それはハムレットかもしれないし、マクベスなのかもしれない。僕にとっては、ずっと前から、デッドプールだった。これ以上自分に向いている役はないと、僕にはわかっているんだ。できるものならあと50年でもデッドプールを演じたいよ。僕があまりにこのキャラクターに魂を注ぎこむから、『あなたは私のほかにデッドプールとも結婚しているみたいね』と妻によくからかわれたものさ」

その理解ある妻は、ブレイク・ライヴリー。彼女との出会いが『グリーン・ランタン』での共演だったことを思えば、あの映画が生んだ「副産物」は、かなり大きかったことになる。しかもライヴリーは、美しく優しいだけでなくファッションセンスが抜群で、なにより料理がプロ級にうまい。過去に「料理はしない、自分がいかに下手くそか知っているから」と宣言したことのあるレイノルズの食生活は、いまや、相当に充実していることだろう。

だが、ファッションに関しては彼も負けていない。シンプルで洗練を感じさせる着こなしは、雑誌「Safari」などでも、たびたび取り上げられるほど。筆者がインタビューしたときに着ていたセーターは、「ミュンヘンにいたときにふらりと買った店で買ったもの」ということだった。

「こういうクラシックな1着は、絶対必要なアイテム。自分の着る服は、もちろん自分で選ぶ。毎朝、誰かに『今日はこれを着なさい』なんて服を並べられるなんて、考えられないね。そう語るの、お洒落に相当なこだわりがある証拠。また、今年もスイス時計の名門(ピアジェ)のアンバサダーに選出されている。普段からクラシックでエレガントな薄型時計をつけこなし、風格あふれる着こなしを披露しているのは実に彼らしい。

肉体を維持することも日頃から心がけている。だが、映画

## PROFILE

1976年カナダ、バンクーバー生まれ。4人兄弟の末っ子。カナダのテレビドラマ、アメリカのシットコム番組を経て、ロマンチックコメディ映画「Definitely, Maybe(日本未公開)」、ホラー映画「悪魔の権む家」、犯罪アクション映画「スモーク・エース/暗殺者がいっぱい」などに出演。代表作に「あなたは私の婿になる」「リミット」など。自らプロデュースした映画「デッドプール」は、全世界で7億8000万ドルを売り上げる大ヒットとなる。タイトル未定。この続編は、今年5月全米公開予定。

“Every actor has a role that defines him. It may be Hamlet or Macbeth. For me, it was Deadpool.

俳優には、自分のキャリアを定義するひとつの役というのがある。それはハムレットかもしれないし、マクベスなのかもしれない。僕にとっては、ずっと前から、デッドプールだった

——ライアン・レイノルズ

文=須藤由紀 text:Yuki Saruwatari

# RYAN REYNOLDS

【ライアン・レイノルズ】

のためでない限り、必死になってワークアウトをすることはしない。『デッドプール』の撮影中も、「もう21歳じゃないし、ケガをしないようにするほうにもっと注意を払っていた。主演の僕がケガをしたら大変なことになる」というところは、さすがプロデューサーだ。「撮影がないときは、週4回くらい、最近はランニングをするね。前はあまりやらなかったけど、ストレス解消にもいいし。あとはウエイトトレーニング」

ライヴリーも2人めの娘を生んだと思ったらあっという間に体重を落としている、夫婦仲良く、励まし合いながらワークアウトをしているのかもしれない。もっとも、『デッドプール』続編を撮り終わった今は、カラダ作りを少しさぼってもいい頃のはずだ。現在製作に入っている最新作はなんとポケモンの実写映画「Detective Pikachu」で、レイノルズのキャラクターはCGなのである。R指定の過激なジョークが売りのアクション映画の直後に、ファミリー向けの映画を選ぶあたりもまた、レイノルズという俳優の面白いところ。「自分ではない、別のキャラクターに溶けこんでしまう感覚が好き」という彼は、ピカチュウにどんな形で溶けこんで見せるのだろうか。



## PIAGET

【ピアジェ】  
アルティプラノ  
アルティメート・オートマティック

世界最薄の  
自動巻き時計!

薄型でエレガントな時計で名高いスイスの名門(ピアジェ)。4年前に、ケース厚3.65mmを達成した手巻きモデルを発表したが、今年、コチラのケース厚4.3mmの極薄自動巻きウォッチを発表した。機能的かつ合理的に考えられた機構は美しさの極致。6月以降発売予定。ケース径41mm、自動巻き、WGケース、アリゲーターストラップ、日常生活防水。予定価格325万円、PGケースモデルは予定価格312万5000円(以上ピアジェ/ピアジェ コンタクトセンター)

in Your

**CLOSET\*****上質が薫り立つ、大人のホワイトスニーカー。**

うららかな陽気に旅心も誘われるこの季節、ホワイトスニーカーが眩しく見える。〈サルヴァトーレ フェラガモ〉は、シンプルなスタイルに上質が薫り立つ。軽快なフットワークとともに魅惑するのは、少年の頃と変わらぬ好奇心だ。

写真=野口貴司 スタイルング=中川原 寛 ヘア&メイク=松本 恵 文=柴田 充 構成=大嶋慧子  
photo: Takashi Noguchi styling: Kan Nakagawara(CaNN) hair&make-up: Megumi Matsumoto(es\*QUISSE)  
text: Mitsuru Shibata edit: Keiko Oshima

**SNEAKER****サルヴァトーレ フェラガモの  
ホワイトスニーカー**

シンプルなホワイトスニーカーは、デニムパンツやミリタリーパンツをはじめ、チノパンやスラックスなどコーディネートを選ばない万能選手だ。しかしだからこそ上質にこだわりたい。〈サルヴァトーレ フェラガモ〉は、なめらかなカーフのアップーにヌバ ックレザーのサドルを組み合わせ、そこにブランドアイコンのガンチーニモチーフをあしらう。そしてソールはグリップにも優れたボックスパターン。ロールアップした足元には軽快感と品格が漂う。

スニーカー5万9000円、パンツ6万6000円(以上サルヴァトーレ フェラガモ/フェラガモ・ジャパン)

in Your

## CLOSET\*

春めく気分を軽やかに彩る、逸品たち。

重いロングコートを脱いだ瞬間、心身ともに自由に解放されていく。そんな春めく気分に合わせて、ブルゾンやアイウェア、時計やアクセサリも選びたい。逸品を身につけるたび、軽やかになっていく自分に気づく。

Loro Piana / ロロ・ピアーナ Vacheron Constantin / ヴァシュロン・コンスタンタン

Tom Ford Eyewear / トム・フォード アイウェア

Boucheron / ブシュロン



## EYEWEAR

トム・フォードの  
“プライベート アイウェア コレクション”

## BLOUSON

ロロ・ピアーナの  
“ライダー・ボンバー”

## RING

ブシュロンの  
“キャトル ブラック”

## WATCH

ヴァシュロン・コンスタンタンの  
“オーヴァーシーズ・デュアルタイム”

D

“キャトル ブラック”は、ダブルゴドロン、クルド パリ、グログランといったメゾンを象徴するモチーフを一体化。深みあるホワイトゴールドの輝きとブラックPVDのコントラストがパリの夜を演出し、マスキュランなロックテイストを醸し出す。リングの上下を替えるだけで表情を変えるのも魅力だ。

リング58万円(ブシュロン/ブシュロン カスタマーサービス)

C

フレームには高級素材のパッファローホーンを採用し、硬さと軽量性を併せ持つ。温もりのあるかけ心地や、自分だけの色柄も天然素材ならではの魅力だ。春の日差しから屋内まで紫外線量に応じて色の濃さが変わる調光レンズも使いやすい。時を重ねるほど上質な風合いは増し、愛着もさらに深まる。

アイウェア13万円(トム・フォード アイウェア)、ジャケット、TシャツはAと同じ

B

1996年の誕生以来トラベルウォッチとして熟成進化を遂げ、新作では待望のデュアルタイムが登場した。赤いGMT針を設け、昼夜表示と日付は4時位置のプッシュで簡単に調整が可能。ブレスレットのほか、レザーとラバーのストラップも工具を使わず交換でき、旅先でもシーンに応じて楽しめる。

腕時計281万円(ヴァシュロン・コンスタンタン)、メッシュのレザーベルト9万1000円(ロロ・ピアーナ/ロロ・ピアーナ銀座並木通り)、ジャケット、ニット、パンツはAと同じ

A

スタイリッシュなシングルライダースに、カーフスキンの極上ナッパレザーを採用。羽根のような軽さと柔らかな着心地に加え、レザーに親水性の膜を張り合わせることで通気性を保ち、水分の浸透も防ぐ。テキスタイルでも名高い(ロロ・ピアーナ)ならではの機能性はこれからの季節にもぴったり。

ジャケット80万5000円、ニット14万4000円、パンツ6万円(以上ロロ・ピアーナ/ロロ・ピアーナ銀座並木通り)、時計はBと同じ、サングラスはCと同じ、その他はスタイリスト私物

in Your

## CLOSET\*

冒険心をかきたてるオリーブカラーのトート。

降り注ぐ陽光を浴びれば、もうアームチェアトラベラーではられない。今すぐにも旅荷をまとめて出かけたいくなる。そんな気分を後押しするのが〈ヴァレクストラ〉のトートだ。中には冒険への期待が詰まっている。

## BAG

## ヴァレクストラの“ラージトート”

シンプルなスタイルながら、ライニングにはスウェードが配され、底鉄が打たれ自立する。こうしたラグジュアリーかつ機能的なクオリティに、ロゴマークをひけらかさずともブランドの美学が伝わってくる。サルビアと名付けられたスモーキーなグリーンに、ブラックとのバイカラーのハンドルがさりげないアクセントに。太めのサイズは男性でも持ちやすく、4段階で長さが調節可能。手持ちでも肩掛けでも使える。アクティブな旅を支えてくれるトートだ。

バッグ29万5000円(ヴァレクストラ/ヴァレクストラ・ジャパン)、ジャケット8万3000円、パンツ4万8000円、スニーカー5万3000円(以上アミアレクサンドルマテュッシュ/アミオモテサンドウ)

in Your

## CLOSET\*

ドライブの旅なら気分もドレスアップしたい。

春風に吹かれ、旅を満喫するならオープンエアのドライブがいい。そんなときこそ羨望のまなざしに応じてドレスアップしたいものだ。ハンドルを握る手元や手にする道具にもこだわる。それが気持ちを高揚させる。

## FOUNTAIN PEN

モンブランの  
"グレートキャラクターズ  
ジョン・F・ケネディ  
スペシャルエディション"



## JACKET

ラルディーニの  
ジャケット



## BLANKET

グローブ・トロッターの  
"ジェットブランケット"



## BRACELET

フレッドの  
"フォース10"



D

オープンドライブに活躍するのがブランケットだ。助手席のパートナーの膝にそっと掛けたり、ショール代わりに。"ジェットブランケット"は、プライベートジェットでの旅をイメージし、耐久性と軽量を両立したグレインレザーをベルトに採用。車外に持ち出せばピクニック気分も味わえる。

ブランケット各6万8000円、トラベルケース(大) 23万5000円、トラベルケース(小) 19万円(以上グローブ・トロッター/グローブ・トロッター 銀座)、ハット4万7000円(ハケット ロンドン/ハケット ロンドン 銀座)、ジャケットはAと同じ

C

旅の思い出は、誰かに見せるのではなく、自分の記憶に残すためにも愛用のペンを使いたい。手に取りたいのが〈モンブラン〉。ジョン・F・ケネディのモデルで、海軍時代とアイビーリーグをイメージさせる爽やかなブルーのボディに、ペン先には情熱を注いだアポロ計画の月着陸船を刻む。

万年筆10万8000円(モンブラン/モンブラン コンタクトセンター)、ジャケット、シャツはAと同じ

B

ブランド創設者の長男はマリンスポーツをこよなく愛し、ヨットのケーブルの両端を金具で留めて作ったブレスレットを妻に贈ったという。こうして1966年に生まれた"フォース10"コレクションはブランドアイコンになった。その憧憬は今も変わることなく、男たちを海へと向かわせる。

ブレスレット24万5000円(フレッド)、ジャケット、シャツはAと同じ

A

ラベルの花形ブーツニエールをシンボルとする〈ラルディーニ〉は、ほどよいイタリアクラシコとコンテンポラリーのバランスに優れる。これからの季節にも最適な麻混のジャケットは、スタイリッシュなタイトフィットシルエットに、ブルーの千鳥格子が涼しさを演出。タイドアップも爽やかに映える。

ジャケット9万4000円、千鳥格子柄のベスト3万2000円(以上ラルディーニ/ラルディーニ 東京店)、シャツ2万9000円(バルバ/ストラスブルゴ)、ネクタイ1万1000円(ソッツィ/ストラスブルゴ)、チーフ1万6000円(ジュブ/ストラスブルゴ)、メガネ2万8000円(モスコット/モスコット トウキョウ)、胸ポケットのペンはCと同じ

## Dunhill

英国スーツの底力と  
美意識を追い風に。

キリッとした線を描くコンケーブショルダーに加え、胸まわりをたくましく見せる仕立ては、まさしく英国スーツのお家芸。〈ダンヒル〉が仕立てたこの1着には、そんなブリティッシュスタイルの伝統が息づいている。実際、袖を通してみると背筋が自然と伸び、自信に満ちた佇まいになることに驚かされる。それは直線的に絞られたウエストによって逆三角形シルエットが生まれ、高めのアームホールで姿勢が少し補正されるから。ここぞという日の1着にどうだろう。

ワイドなラベルや、ウエストを少し高い位置でシェイプさせたシルエットが、男らしくてシャープな佇まいに。生地自体も英国テイストあふれるグレンチェックだが、グレートーンで柄の主張を抑えている。スーツ34万円、シャツ3万1000円、ネクタイ2万9000円、チーフ1万2000円、手に持ったトレンチコート26万円、オーガナイザー11万9000円(以上ダンヒル)、メガネ8万3000円(ダンヒル/デリーゴジャパン)



## GIORGIO ARMANI

カジュアルに着こなしても  
サマになる軽やかスーツ。

見るからに仕立てのよさそうなスーツ。それなのに、ポロシャツで力を抜いた着こなしにもよく馴染む。その秘密は、〈ジョルジオ アルマーニ〉が得意とするライトウェイトな仕立てにある。芯地を省き、肩パッドを薄く仕上げているので、気負いなく着られるのがいい。それでいて、肩がストンと落ちるストレートショルダーとスリムなボディは極めて都会的。シルク混ウールというリッチな生地のおかげもあって、無地であることがウソのように華やかだ。

ジャケットもコンパクトなシルエットだが、パンツも裾幅19cmと細身。ラベルのゴージャスラインが高いので、ノータイで着ても首まわりがキリッとして見える。カジュアル色の強いポロシャツも、色みをスーツと合わせれば馴染みやすい。スーツ34万円、ポロシャツ6万7000円、ベルト4万3000円、シューズ12万円(以上ジョルジオ アルマーニ/ジョルジオ アルマーニ ジャパン)、その他はスタイリスト私物



一目置かれる美シルエットと上質素材。

リッチな春らしさの演出は  
軽快なグレースーツで。

スーツに袖を通した瞬間、気持ち引き締まるあの感覚は、どんなに年を重ねても変わらない。おそらくそれは、スーツが男を一番輝かせてくれる服だからだろう。であればビジネスに限らず、休日のお洒落でも着ない手はない。上質で春らしいグレースーツなら、輝きはもっと増すはずだ。

写真=野口貴司 スタイルリング=中川原 寛 ヘア&メイク=松本 恵 文=遠藤 匠 構成=大崎 隼子  
photo: Takashi Noguchi styling: Kan Nakagawara(Ca.VV)  
hair&smoke-up: Megumi Matsumoto(es\*QUISSE) text: Takumi Endo edit: Keiko Oshima



## Louis Vuitton

ざらりと纏うだけで  
色気が薫る新シルエット。

肩や胸をグラマラスに隆起させながら、引き締まったシルエットを描いたこの「ボン・ヌブ」フィットのスーツ。フロントを開けて着てもきれいにロールするピークドラベルはさすがの出来栄。どこか威風堂々とした佇まいを演出してくれる。フォーマル色が和らぐ無彩色のグレーなら、旅をともにする1着としても活躍してくれそうだ。細身であることを感じることなく快適に動けるのも、〈ルイ・ヴィトン〉のテーラーリング技術のなせるワザ。

肩まわりにはどよい構築感があるので、ノータイでラフに着ても上品。裾に向かって美しくシェイプしたパンツは、少し短めの丈にするとしニーカーとの相性も良好に。スーツ46万2000円、シャツ13万円、ベルト6万円、アリゲーター ストラップの腕時計62万1000円、スニーカー 9万7000円、キャリーバッグ大40万6000円、キャリーバッグ小(オーダー価格)39万9000円、ポストンバッグ18万7000円、机の上に置いたサングラス4万5000円、ガイドブック各3400円(以上ルイ・ヴィトン、ルイ・ヴィトン クライアントサービス)、その他はスタイリスト私物



## Brioni

手のぬくもりが未体験の  
心地よさを生み出す。

「まるで第二の皮膚のように、心地よくフィットする」。〈ブリオーニ〉が、自社スーツの魅力をそう語る理由はどこにあるのか？ それは、ジャケットの袖を通した瞬間に理解できるはず。特筆すべきは、仕立てにおいて手作業の割合が多いこと。手縫いを多用すれば、着心地自体が優くなるだけでなく、カラダの微妙な曲線に沿ったシルエットを描くことも可能となる。凛々しいのにどこかリラックスして見える佇まいの秘密は、ここにある。

この「ラヴェッロ」というモデルは、肩まわりに自然な動きを生み出せるように、人工工学に基づいてショルダーを仕立てたことが特徴のひとつ。しなやかなスーパー 150'sの生地を最大限に生かし、裏地のない仕立てで軽やかな着感も実現。貫禄と軽快さを両立させている。スーツ64万6000円、ニットポロ参考商品、ベルト5万5000円(以上ブリオーニ/ブリオーニ ジャパン)、その他はスタイリスト私物





## CARRÉ H

[カレ アッシュ]

世界中の旅のお供に  
冒険心もお忘れなく。

現代的なジェットセッターなどをイメージするとき、(エルメス)にとっては実用的なGMT機能付きなどではなく、冒険心が大事。コンパスのようなデザインにしたのもそのため。すべて2桁で揃えた立体的な数字もモダンで美しい。デザインは、建築家兼デザイナーのマルク・ベルティエが担当。エルメス銀座店先行発売予定。ケースサイズ38×38mm、自動巻き、SSケース、カーフストラップ、3気圧防水。予定価格各77万5000円(以上エルメス/エルメスジャパン)  
©Calitho



## ARCEAU CASAQUE

[アルソー カザック]

“色魅せ”だけで終わらない  
繊細デザインにも惚る。

馬の輪郭を描くエレガントな曲線に魅了される1本。その文字盤にはシャトルベ製法、ラッカー、転写という技巧が複数施され、うっすら浮かぶペリリンボーン柄も縦と横、大きき違いにするなど雲が細かい。ラグは上下非対称で遊び心もたっぷり。すべて5月頃発売予定。ケース径36mm、クォーツ、SSケース、カーフストラップ、3気圧防水。予定価格各40万9000円(以上エルメス/エルメスジャパン)

©Carl Kleiner

# HERMÈS

〈エルメス〉の新作を手に入れたら

## 時計を語るより ユーモアを語ろう。

時計好きな人ほど、中身のすごさやブランドを誇らしげに語りたくなるもの。もちろんそれも悪くない。でも、時計選びはその人のキャラクターや価値観を映す鏡のようなもの。もしあなたがウチクよりも、デザインやユーモアを大事にする大人なら選ぶ時計はひとつ。それが〈エルメス〉の時計かも。

**フ**ランスの老舗メゾン〈エルメス〉の時計がほかと違うのは、単に時を計るだけではなく、豊かな創造性に重きを置いているということ。どの時計もファンシーでいつもフレンドリー。つまり時計づくりの視点が違うってわけだ。それは時計を介して、プレイフルな感覚を呼び覚ましいたいという精神からも窺える。たとえば旅や冒険を表現した時計“カレ アッシュ”。GMT機能やワールドタイマーを装備するといった常識的な考え方から離れて、まるでコ

ンパスのようなデザインで冒険家や旅人の進む先をユーモアたっぷりに見せたのはそんな遊び心の表れ。もちろんほかの新作もそう。どれも見るたびにユーモアに富んだアイデアに惹かれるのは決して気のせいではない。それに、品がよく洗練された見た目も〈エルメス〉ならではの、落ち着いた大人のこそ似合うのもいい。でも、いくらこれらの時計に惹かれても、その魅力をクドクド語るのには野暮。あなたのユーモアのセンスは、時計が代弁してくれますから、ご安心を。

## ARCEAU CHRONO TITANE

[アルソー クロノ チタン]



©Calitho

風にそよぐ数字は、まるでギャロップする馬のタテガミ!?

精悍なチタンケースのクロノグラフも、〈エルメス〉が手掛けるととってもユニーク。流れるような数字に風を感じる。4月頃発売予定。右:ケース径41mm、自動巻き、チタンケース、カーフストラップ、3気圧防水。予定価格56万3000円 左:カーフエンボスレザーストラップ。予定価格57万7000円(以上エルメス/エルメスジャパン)

**HARRISON Messenger**  
[ハリソン・メッセンジャー]



**オン・オフに映える万能デザインが魅力。**

コシのあるクロスグレインレザー仕立てで、スマホなど小物の収納が便利。背面には雑誌が収まるアウトポケットも備えている。メッセンジャーバッグW25×H25×D6cm。6万5000円、財布3万円(以上マイケル・コース/マイケル・コース カスタマーサービス)

**年** を重ねると、装飾的な要素を抑えたものを好むようになるのはなぜだろうか。とりわけその傾向は、バッグ選びに顕著に表れる。女性のようにバッグにアクセサリ的な役割を担ってもらわなければならないということは、おそらく理由のひとつだろう。ちょっと違った見方をすれば、人生経験を積んで人としての深みを増した男であれば、バッグがもたらす演出効果に頼る必要がないのかもしれない。もちろん、デザインがミニマルであるということは、都市生活者にとってはなにかと使い勝手がいいという実用的な魅力もある。

そんな大人の男が思い描く理想像にピッタリとハマるのが、(マイケル・コース)のバッグだ。ニューヨーク州のロングアイランドで生まれ育ち、1981年に自身のブランドを設立。以来、ニューヨークを拠点としてきたマイケル・コース氏の世界観は、まさしくNYスタイル。ブリーフケースにしても休日モードのバックパックにしても、シンプルに徹して使う人を引き立てるという引き算の美学が息づいている。加えてこの洗練されたデザインは、使用している革や仕立て自体の上質さを強く印象づける役割も担っている。つまり、いい年の大人にふさわしいクラス感も備わっているというわけだ。

**ABOUT**

**Michael Kors**

1959年、アメリカ・NY州ロングアイランド生まれ。1981年に自身のブランドである(マイケル・コース)をスタート。その後(シリーズ)のクリエイティブ・ディレクターも務めるなどブランドの躍進に貢献。1999年にCFDAのデザイナー・オブ・ザ・イヤーをはじめ、数々の賞を受賞している。



**HARRISON Briefcase**  
[ハリソン・ブリーフケース]



[モデル着用]

**服地のような表情で一步先の品格を。**

ファブリックのようなテクスチャーの型押しは、キズがつきにくい点も魅力。手に優しい丸ハンドルも、職人技が宿るレザー仕立て。ブリーフケースW39×H28×D4.5cm。8万6000円、サングラス2万5000円(以上マイケル・コース/マイケル・コース カスタマーサービス)

**BRYANT Backpack**  
[ブライアント・バックパック]



**未体験の背負い心地にひと目惚れ。**

ふっくらと厚みのあるペブルレザー製ボディが、心地よくフィット。内側の背面に、タブレット用ポケットが用意されている。バックパックW31×H42×D14cm。7万2000円、スニーカー4万4000円(以上マイケル・コース/マイケル・コース カスタマーサービス)

**MICHAEL KORS**

〈マイケル・コース〉のバッグは  
**NY流の洗練デザインで  
印象は品よくモダン。**

NYブランドが手掛けた製品は、シティライフで映えるエッセンスが満ちあふれている。装飾性を削ぎ落としつつも上品な華やかさをたたえた〈マイケル・コース〉のバッグで、その魅力を存分に楽しみたい。

写真=野口貴司 スタイルング=中川原 寛 ヘア&メイク=松本 恵  
文=遠藤 匠 構成=大嶋 慧子  
photo: Takashi Naguchi styling: Kan Nakagawara(CaVA) hair&make-up: Megumi Matsumoto(es'OL'ISSÉ) text: Takumi Endo edit: Keiko Oshima

**主張を抑えても  
上品さが際立つのは  
ダークグレーのマジック。**

グレーは、ベーシックな色でありながら、身にまとう人を品よく端正に見せてくれる。ミニマルで仕立てのいいブリーフケースを主役に、着こなした全体もこの色で統一してみたらどうだろう。色使いでアレコレ悩むよりも、簡単に洒落て見えるはずだ。ジャケット10万9000円、シャツ2万円、パンツ3万6000円、ベルト(参考色)1万3000円、腕時計3万1000円、ブリーフケース8万6000円、財布3万8000円、ベンチに置いたキーホルダー1万円、サングラス2万5000円(以上マイケル・コース/マイケル・コース カスタマー サービス)

手のぬくもりと使い勝手を  
追い求めた`香る`レザーバッグ。

〈ダヴィンチ ファーロ〉が手掛けたこの`アロマ`シリーズの製品には、極めて実用的な設計とは別に特別な魅力が備わっている。トスカーナの街道を彩る並木道の樹木の香りを革を鞣す過程でゆっくりと纏わせる特殊製法が用いられており、心が休まる週末を演出してくれそうだ。



1/ Sacoche  
[サコッシュ]

[モデル着用]

2/ Tote Bag  
[トートバッグ]

1: タブレット端末も収納できるサイズ感が絶妙なサコッシュ。ボトムに向かって自然にシェイプしたフォルムは、見ためにエレガントだけでなく、荷物の出し入れもしやすい。特注の肩紐は、長時間背負っていてもストレスの少ない素材感に仕上げられている。W29×H29.5×D2.5cm。3万6000円 2: 開閉しやすいマグネットボタン式の開口部を採用したトートバッグ。ハンドルは革を三つ折りにした仕様で、手持ちしても肩にかけても心地いい。W36×H37×D10.5cm。6万円 3: 3つのケースを合体させたユニークなデザインは、小銭入れとしてだけでなく、鍵やカード類を小分けで収納できる点が便利。普段はもとより、旅でも重宝しそうだ。W12×H6×D3cm。1万6000円 4: 大きめのケータイと充電器、コードがちょうど入るとい設計が嬉しいところ。W18×H10.5×D2.5cm。1万8000円(以上ダヴィンチ ファーロ/ダヴィンチ ファーロ ジャパン)、その他はスタイリスト私物



コインや鍵等のアクセスのほかカード類やお札も分けて収納できる。職人気質が表れた丁寧な作り。

3/ Triple Zip Case-M  
[トリプルジップケース M]



外出の必需品が、ちょうど収まる設計。クラッチバッグ感覚で使えそう。中に入っているコイン&カードホルダー。1万6000円(ダヴィンチ ファーロ/ダヴィンチ ファーロ ジャパン)

4/ Zipper Case-L  
[ジッパーケース L]



# Da Vinci FARO

実用性と風合いが違う〈ダヴィンチ ファーロ〉。

## イタリアの香りを 上質バッグで纏う。

休日のバッグは、気負わず自然体で持てるものもいい。〈ダヴィンチ ファーロ〉のバッグは、その有力候補。しなやかなイタリアンレザーを惜しみなく使ったボディは、見た目の印象に加え、手に触れたときの感触も優しい。それだけで使い勝手がすこぶるいいので、外出すること自体が楽しくなりそうだ。

写真=野口貴司、正重智生 スタyling=中川原 寛 ヘア&メイク=Hanjee 文=遠藤 匠  
構成=大嶋慧子 Photograph: Takashi Noguchi, Tamoo Shojima (BOIL) Styling: Kan Nakagawara (CaXX) Hair&make-up: Hanjee Text: Takumi Endo edit: Keiko Oshima

### Da Vinci FARO

職人気質の新鋭ブランド。

〈ダヴィンチ ファーロ〉は、イタリアのバック業界の巨匠ガブリエル・カンテロ・リー氏の長男であり、幼少期から父を師として仰いできたアレックス・ロドリゲスがアートディレクターを務めるブランド。熟練職人でもある彼は、美しさにこだわり、イタリアの老舗工房の美意識と自身の暮らしを投影し、イタリア人のアクティブライフを支えるバッグを作り続けている。



オリジナルの`香る`レザーで仕立てたサコッシュは、背負ったときにカラダに心地よくフィットするように計算されたデザインが魅力。サコッシュ 3万6000円(ダヴィンチ ファーロ/ダヴィンチ ファーロ ジャパン)、その他はスタイリスト私物

# Salvatore Ferragamo

足元を魅せるのはいつも〈サルヴァトーレ フェラガモ〉。

## 旅とスニーカーは 遊び心があるほど楽しい!?

旅慣れている人は、“相棒”の選び方も心得ているもの。なかでも経験値の違いが出るのが靴。足元を見られず、それでいて遊び心のあるものを選んでいく。(サルヴァトーレ フェラガモ)のスニーカーがまさにそれだ。

写真=野口貴司 スタイリング=中川原 寛 文=遠藤 匠 構成=大嶋 慧子  
photo: Takashi Noguchi styling: Kan Nakagawara (CaNY)  
text: Takumi Endo edit: Keiko Oshima



右:しなやかなカーフ仕立てと思いきや、パテントレザーを効かせたバックスタイルが新鮮。仕立て自体に高級感があるからこそ、シャークソールのような靴底の遊び心が生きてくる。6万4000円 中:エンボス状に編んだファブリックが、足全体を優しく包みこんでくれるスリッポン。全体をダークトーンで統一した配色で、カジュアルすぎない印象に仕上げた。5万9000円 左:側面にマットな質感のヌバックを採用し、センターをきめ細かいカーフで切り替えた異素材ミックス。ともすれば味気なく見えるグレーを、ひととき印象的な表情に一変させた。スニーカー 6万4000円、ポストンバッグ24万円(以上サルヴァトーレ フェラガモ/フェラガモ・ジャパン)

「旅」の恥はかき捨て”とはよくいうが、いい年の大人の場合はもうもいかない。宿泊先はもとより、食事に行く場所もそれなりの店になるわけだから、足元を見られるような格好はできないもの。しかし、フットワークの軽さが重視される旅先で、高級なドレスシューズを履き続けるわけにもいかない。

では、〈サルヴァトーレ フェラガモ〉の新作スニーカーなんてどうだろう。“キュ

ーブ”と名付けられたこの新コレクションの特徴は、クサビのようなキュービックエレメントがあしらわれたラバーソール。素材や仕立てからにじむ高級感だけでも勝負できるスニーカーに、あえてエッジの効いたディテールを加えてしまうところが、誰が見てもラグジュアリーブランドらしい遊びに映るはずだ。

しかも、同シリーズのスニーカーの強みはそれだけではない。前足部の周囲に張り

巡らされた突起が靴底の最も圧力がかかる部分をサポートしてくれるので、すこぶる歩きやすいのだ。もちろん、高品質なシューズを手掛けているブランドだけあって、スニーカーといえども履き心地は極めて良好。ラスト自体も足形に自然と馴染むうえ、素材も心地よいものを厳選している。こんなスニーカーで旅先の街を颯爽と歩いているならば、旅慣れた大人に見えるのは間違いないだろう。

# GIORGIO ARMANI

## 〈ジョルジオ アルマーニ〉なら 本格オーダーメイドも まさかのスピード感!

スーツを読めるとなれば、品質に妥協はしたくないもの。思い切って最高峰の〈ジョルジオ アルマーニ〉に足を運んでほしい。敷居が高く、時間もかかるというイメージをいい意味で裏切ってくれるようだ。

写真=野口貴司 スタイリング=中川原 寛 文=遠藤 匠 構成=大嶋 慧子  
photo: Takashi Noguchi styling: Kan Nakagawara (CaNY)  
text: Takumi Endo edit: Keiko Oshima

イタリアンスーツの品質の高さを世界に広めた立役者である一方、そのステイタス感と着心地の両面で最高峰を体現している〈ジョルジオ アルマーニ〉。そんな同社のオーダーメイドとなれば、プライスの雲の上のような存在と思われがちだが、どうやらそれは大きな誤解のようだ。実は“メイドトゥ オーダー”のシステムが一新され、より身近な存在になっていたのだ。まず注目したいのは、プライス設定。既製のスーツを購入した場合との価格差は、約10%だけ。既製品をお直しするだけでもこれくらいの価格差が出ることを考えると、ほぼ変わらない金額で自分だけの1着を仕立てられるわけだ。また、オーダーのベースになるのは3型だが、通常は日本で展開していないサイズもオーダー可能。着丈調整などを加えるわけだから、仕上がりのバリエーションは無限といっても過言ではない。しかも、納期は注文後わずか1カ月だという。ここぞというときのためのスーツを仕立てるなら、迷わず最高峰の扉を叩くのが正解のようだ。

### INFORMATION 全国の店舗で オーダーフェアを開催!

〈ジョルジオ アルマーニ〉では、全国の店舗でオーダーフェアを順次開催。開催期間は3/3(土)~4/13(金)で、期間中に今回紹介したメイドトゥ オーダー、もしくはメイドトゥメジャーのスーツを注文したお客様に、もれなくオーダーメイドシャツをプレゼントしてくれる(事前予約制)。各店舗の開催期間を確認のうえ、スーツと一緒にシャツも新調できるこのお得なチャンスを生かしてほしい。

“メイドトゥ オーダー”のベースとなるモデルは3型。クラシックシルエットに加え、カーディガン感覚で着られるジャケットも用意。シングルかダブルの仕様が選べ、約300種類の表地のほか、裏地、ボタンなどのパーツを自分好みで選べられる。仕立ては本国イタリアで行われ、約1カ月でスーツが手元に届く。スーツ30万9000円~ジャケット22万円~(以上ジョルジオ アルマーニ/ジョルジオ アルマーニ ジャパン)



LUXURY  
**FIRST CLASS\***

今度の旅はファーストクラスで。

空の上のスイートルーム、ファーストクラス。シートはもちろん、食事、アメニティ、サービスに至るまで、世界最高峰が揃う特別な空間だ。ことさらラグジュアリーな3社をご紹介します。

文=たかせ藍沙 text: Aisha Takase

**エ**ールフランスのファーストクラスは、“ラ・ブルミエール”と名付けられている。フランス語で“ファースト”という意味だ。座席は、B777-300型機の1フライトにつき、たったの4席。カーテンで仕切られた各座席には、ファーストクラスではなくラ・ブルミエールと呼ぶにふさわしいエレガントな空間がある。羽田に飛んでいるのもこの機体だ。

2014年9月から導入されたシートは、レザー、スウェード、ツイード調の生地、メタリック仕上げ、木目のニュアンスを組み合わせたデザイン。淡いグレーに、ラ・ブルミエールのテーマカラーである深紅のアクセントが効いていて、気品すら感じさせる美しさがある。

就寝時には長さ2m以上、幅77cmの広々としたベッドにゆったりと。シートの上には形状記憶マットレスが敷かれ、サイズの大きな枕と掛け布団で、疲れを残すことなく、むしろ疲れを癒して目的地に到着することができる。機内で配ら

れるスキンケアブランド、(カリタ)のアメニティでリフレッシュすれば、到着後のビジネスや観光もスムーズだろう。

帰路、パリのシャルル・ド・ゴール空港では、空港に着いてクルマを降りた瞬間から“ラ・ブルミエール体験”と称されたサービスが待っている。専任ボーターが出迎え、プライベートチェックインラウンジへ。専任スタッフが空港内の各種手続きをすべてケアしてくれる。また、“ラ・ブルミエールラウンジ”では、フランスの巨匠アラン・デュカス監修の料理や、パリの高級サロン(ピオロジック・ルシェルシュ)の30分~2時間の様々なトリートメントが用意され、フライト前にもとびきりの時間を楽しむことができるのだ。

**エールフランス**  
AIR FRANCE

フライト予約: ☎03-5767-4143(東京)  
☎06-6341-2661(大阪)  
www.airfrance.co.jp



A: 機内食はジョエル・ロブションなどフランスが誇る星付きシェフたちの監修 B: フリンジがついたブランケットは、ラ・ブルミエールのテーマカラーの赤 C: 収納は手元のほか、オットマン下の引き出しや背もたれの後ろにあるクローゼットにも D: 空港のラ・ブルミエールラウンジはシートと同じライトグレーと赤でエレガントなインテリア

**航**空機では珍しくコラボレーションのインテリアを採用したのは、豪華さで知られるドバイのエミレーツ航空。そのパートナーとして選ばれたのは、ドイツの(メルセデス・ベンツ)だ。

なにかと“世界で一番”が話題になるドバイにおいて、エミレーツ航空は世界で

最初に機内にシャワースパを導入して話題となった航空会社。そして、2017年12月に導入した新ファーストクラスが、またも業界の度肝を抜いた。(メルセデス・ベンツ)らしいデザインの美しさもさることながら、座席をゼロ・グラビティ(無重力)でくつろげる角度に調整できるというクルマメーカーならではのこだわり

も。天井まで延びるドアで完全なプライバシーが確保されているのも特徴だ。このシートを搭載したB777-300型機は、2018年3月現在、ドバイからブリュッセルとジュネーブに飛んでいる。成田便は新シートではなく、シャワースパとラウンジがあるA380型機のほう。ドバイで乗り継いで両方楽しむという手もある。



A: 座席は、窓側に1席ずつ中央に1席が2列の6席。通路側にある樹木のデザインもライトアップされていて豪華 B: ドバイ-成田間を飛んでいるA380型機の機内にはバーラウンジがある。ここはビジネスクラスとの共用 C: アメニティは(ブルガリ)。ポーチも高級感がある D: A380型機のシャワースパ。シャワーは5分間浴びることができる

**エミレーツ航空** EMIRATES

フライト予約: ☎03-6743-4567 www.emirates.com



**ゼロ・グラビティ設定でくつろげるひとときを。**

ドアを開けると傍らには飲み物などが入ったクローゼット、壁にはカーテン、ゆったりとしたソファに身を委ねてリラックス。まるで高級ホテルのリビングでくつろいでいるような感覚に陥る、斬新な豪華なシートだ。

A: 羽田空港のファーストクラスラウンジ内にある(RED Suite)には、航空マニアならずとも一見の価値がある航空関連の貴重な展示品がある B: アメニティは(エトロ)。保湿効果が高いマスクや、日本到着時にはめぐりズム 蒸気でホットアイマスクも入っている C: モニター下のオットマンを使えば、同行者と向かい合って座ることができる



**錦絵と木目調で心和むインテリア。**

ボックス型のシートを採用した“JALスイート”は、木目調を多用した落ち着いたデザイン。キャビンに敷かれている絨毯は錦絵の一種“雲母絵(きらえ)”だ。日本らしさと高級感を兼ね備えたインテリアとなっている

**日**本航空のファーストクラスのシートは、“JALスイート”。木目調を多用し、ページと茶を基調としたシックなデザインが特徴だ。横に1-2-1という並びが2列で合計8席あり、中央2席を選べばパートナーと隣り合わせて座ることができる。

機内食は、日本発便の洋食が(SUGA

LABO)の須賀シェフ、和食(石かわ)の石川シェフと(虎白)の小泉シェフ。日本着便は出発地の星付きレストランの日本人シェフなどが監修。シャンパンは(クリ・ロデレール・クリスタル)だ。

アメニティは3月初旬から創業50周年を迎えた(エトロ)となった。機内で(エトロ)のアメニティが使用されるのは世

界初。別途、(資生堂)のローションなどが用意されている。

ベッドメイキングの際に使われる(エアウィーヴ)のマットレスは、JALのオリジナル仕様。片面が硬め、片面が柔らかめになっていて、好みの硬さを選ぶことができる。枕も横向きに寝ても肩に負担をかけない高さに保たれる優れものだ。

**日本航空**  
JAPAN AIRLINES

フライト予約: ナビダイヤル ☎0570-025-103(国際線) ☎03-5460-3737(国際線)  
www.jal.co.jp



**パリのエスプリが薫る気品に満ちたシート。**

各座席がカーテンで仕切られて個室になるというスタイルは、エールフランスならではの、手元を照らすライトも、機内というよりもリビングルームのような心地いい空間となっている

Great  
**EXPLORE\***

**TIPS**

このビーチの魅力とは？

**#01 シルバーサンドビーチが12kmも続く**

空港を起点に白砂ビーチが続く。空港周辺は岩礁がアクセントになった風光明媚な風景。南寄りには波のない穏やかな浜辺

**#02 旅情たっぷりの光景に出会える**

ひと昔前のアジアに迷いこんだような暮らしを垣間見られる。女性は頬にクリーム色の粉を引き、異文化を感じることも

**#03 洗練されたリゾートホテルがある**

手つかずの自然が残るビーチは、えてしてバンガローが中心だけれど、ここには満遍なアジアリゾートが充実している！

**未知なるアジアリゾートとは!?**

世界には美しいビーチは数多くあるが、開発が進み、本来あるべき自然が失われている案内も。しかし、まだ手つかずの paradisaic ビーチはある。しかも、同じアジアだったら、知らないのはもったいない！

文=古関千恵子 text: Chieko Koseki photo by AFLO

ニ ヤンマーの玄関口ヤンゴンから空路約50分、ベンガル湾に面するガバリビーチ。イタリア人が「ナボリのように美しい！」と絶賛したことから名付けられたというビーチは、白く輝くシルバーサンドが約12km続くロングビーチ。空港から南下する一本道は舗装されてはいるものの、こぶ牛を運んだ農民やバイクタクシーが行き来し、道路脇には金ダライで豚肉の煮こみを売る屋台や、ピンロウのスタンドが立つ。アジアの原風景的な暮らしが残っている。リゾートエリアに隣接する漁村へ夜明けに訪れると、水揚げする漁船が浜にずらり。小魚を満載したバケ

ツを天秤棒で運ぶ漁師や、浜に敷いたワラの上に小魚を撒いて干物を作る女性、働く彼らの胃袋を満たすためにちやぶ台と釜を浜辺に持ちこみ麺を売るおばちゃん。早朝の浜は活気に満ちている。そんな素朴さが持ち味のビーチながら、上質なリゾートホテルもちゃんとあるのが嬉しいギャップ。派手な施設はないけれど、こぢんまりとした居心地のいい雰囲気のところばかり。ただし、ガバリビーチへ行くなら急いで！ 11~4月いっぱいまでがオンシーズン。季節限定であることも、そそられる。



**DATA**

Ngapali Bay Villas & Spa  
Myapayin Village, Ngapali,  
Thandwe District,  
Rakhine State, Myanmar.  
☎+95-43-42301



**Ngapali Beach**  
[ガバリビーチ/ミャンマー]

**ESCAPE to the SECRET BEACHES**



**DATA**  
Jalakara Private Villa Hotel  
Jalakara, Village number 4, Havelock Island,  
Andaman and Nicobar Islands, India.  
e-mail: enquiries@jalakara.info



**Radhanagar Beach**  
[ラドハンガービーチ/インド]



**TIPS**

このビーチの魅力とは？

**#01 精気あふれる手つかずの自然美**

人の手の入っていない島の自然がそのままに残されている。ヤシ林はびっしりと隙間なく、白砂も美しく、すべてが無垢

**#02 まだ開発はささなみ程度**

これまでバンガローが、エコリゾートのみだったけれど、ようやく上質なヴィラも誕生。これからブレイクの予感

**#03 ダイビングも魚影濃厚、大物も登場**

巨大なバラクーダがぐるぐるとうろを巻き、通常は単体で泳ぐ口ウニアジが群れで出沒。迫力の水面下は、ダイバーの憧れ

ビ ーチランキングの上位をキープするラドハンガービーチがあるハブロック島。ここは、インドといっても、ベンガル湾とアンダマン海の境。どちらかというと、タイの方が近い。南北約24km、東西約12kmの細長い島を縁取るのは、びっしりと茂るヤシの木。その密度の濃さは、島そのものの生命力を物語っているよう。ビーチは東海岸に集中。船着き場のある北端から順番に、ナンバー1、2、3……と番号でビーチを呼ぶのが特徴。唯一の町は、ナンバー3付近。町といっても、原付きバイクで5分もあれば走り抜けてしまう小ささ。タイに近いとはいえず、行き交う女性

のあざやかなサリー姿に、「やはりここはインドなのだ」と改めて気付かされる。一方、島を縦断した西海岸に位置する別名ナンバー7と呼ばれる島一番の美しいビーチが、ラドハンガービーチ。大樹の林を抜けると、目の前に広がるのは、光を反射して自然発光しているようなシルバーサンドのビーチ。そして穏やかな遠浅の海が軽やかなブルーをたたえている。うーん、まさに絶景！ ただし、このビーチに行くのはひと苦労。まずインドのチェンナイから空路でポートブレアへ。陸路、海路と乗り継いで、フライトによっては日をまたぐ。そんな過路を押ししてまでも行く価値のある美ビーチだ。

**ESTNATION**

〈エストネーション〉がこだわる  
**快適スーツは素材が〈ロロ・ピアーナ〉。**

スーツは男の勝負服といわれるが、鎧のように硬い前時代的なスーツでは現代のビジネスシーンで戦うことはできない。軽快かつ動きやすい1着で、時代のスピード感と並走しなくてはならないのだ。スーツとは思えないほどフットワークが軽くなる〈エストネーション〉の新作は、まさにその理想形。

写真=野口貴司 スタイリング=中川原 寛 ヘア&メイク=Hanjee 文=遠藤 匠 編集=大嶋 健子  
photo: Takashi Noguchi styling: Kan Nakagawara (CaNN)  
hair & make-up: Hanjee text: Takumi Endo edit: Koiko Oshima

**機能性だけでは飽き足らない  
大人のための最上級スーツ。**

動きやすさを求めた服地は、イタリアの〈ロロ・ピアーナ〉が手掛けた“ムービング”。ライクラ素材が動きに追従する一方、ウールシルク混なので単なる高機能素材とは一線を画す高級感も印象づけられる。パンツのセンタークリースが消えにくい加工で、プレスなどのケアも最小限で済む。

締めつけ感のない着心地があまりにも快適で、いつも増してアクティブに街を駆けてしまいたい。それでいて美しいドレープは、まさに高級スーツそのもの。スーツ9万8000円、ボケットチーフ2400円(以上エストネーション)、シャツ3万3000円(バグッタ/エストネーション)、ネクタイ1万4000円(エリコフォルミコラ/エストネーション)、シューズ15万8000円(エドワードグリーン/エストネーション)、その他はスタイリスト私物



伸縮性に富む一方、220g/mと超軽量。一般的なスーツよりかなり軽い感触で、まさにこれからの季節にぴったり



Ngapali Beach / ガバリビーチ / ミャンマー Radhanagar Beach / ラドハンガービーチ / インド

Heritage Heroes

# REBORN\*

### 憧れていたクルマが“新車”で乗れる贅沢。

最近クルマメーカーが、かつての名車を復刻したり旧車を再生する取り組みをはじめたのはご存知？ ハイテク満載の最新車もいいけど、今また旧車に価値を見出し大切に乗り。これもまたいい。

文=金子浩久 text: Hirohisa Kaneko



JAGUAR D-TYPE



LAND ROVER DEFENDER Works V8

上:Dタイプの製造を手掛けるのは、英国にある、同社のクラシックカー所有者やファン向けに、車両、パーツなどの供給などを行う部門“ジャガー・ランドローバー・クラシック” 下:(ランドローバー)70周年記念の特別モデル。残念ながら日本輸入販売の予定はなし。ホイールベースは90と110から選択が可能で、英国販売価格は£15万から

これから、クルマはきっぱり2つのグループに分かれていく。99%はコモディティとして、残りの1%は楽しみと喜びの対象として。コモディティは実用品だから、自動運転化、電動化、コネクティビティ、シェアリングなどが急速に進み、結果として事故を起こさず、排出物も出さず、運転や所有の負担などが極小化される。クルマが宿命的に抱えていたネガティブな要素から完全に解放される。いま僕らがクルマと呼んで運転しているものとは次元の異なる“高度な移動体”へと大進化していく。すべての人々と社会から大歓迎されるが、それとは別に求められるのが残り1%のクルマだ。運転する喜びや、デザインや歴史を愛でる楽しみのために存在するクルマたち。実際に、そんなクルマが造られはじめている。

〈ジャガー〉は、ル・マン24時間レースを1955年から57年に3連覇した伝説的レーシングカー“Dタイプ”を25台限定で再生産する。当時の計画ではDタイプは100台製造される予定だったが、実際に造られたのは75台で、60余年の時を経て残り25台を製造しプロジェクトを完遂させるという“ストーリー”もこのDタイプにはこめられている。

また、〈ランドローバー〉も1月に“ディフェンダー Works V8”を限定150台で復刻すると発表。ディフェンダーはすでに生産が終了しているが、最近の都会派SUVでは成し得ない究極の悪路走破性能と機能一点張りのデザインを惜しむ声は少なくない。Dタイプとディフェンダーの復刻は、クルマの楽しみと喜びを体現している。今後、プレミアムカーメーカーはこの“1%のクルマたち”にこれまで以上に力を注いでいくことだろう。

ほかにこんなメーカーの取り組みも!



〈フェラーリ〉/ フェラーリ・クラシケ  
東京と大阪に2つのフェラーリ・クラシケ認定ファクトリーが誕生。  
〈フェラーリ〉ほどのクラシックカーともなると、その正当性が問われることになる。“フェラーリ・クラシケ”では、クラシック・フェラーリにレストアやメンテナンス・サービス、技術的なアシストを行っているが、大きな特徴となっているのが製造から20年以上を経過したロードカーとレーシングカーに対する鑑定書の発行だ。オリジナル部品でキチンと整備されているかが審査される。



〈ランボルギーニ〉/ ランボルギーニ・ポロストリコ  
憧れたあのスーパーカーが時を超えてフルレストアで蘇る!  
〈ランボルギーニ〉のヘリテージ部門である“ポロストリコ”は、2015年春に本格スタート。ポロストリコの主な役割も、クラシック・ランボルギーニのレストアや鑑定書の発行などだ。さらに、ポロストリコならではの特徴はクラシックモデルの復刻生産。これまでに2台の“ミウラSV”が当時の部品と製造方法で復刻生産されている。現在では、“カウントック”も作業に入っている。



〈メルセデス・ベンツ〉/ ヤング・クラシック リフレッシュプログラム  
名車“アマゾン”をはじめクラシック・ボルボの再生を担う。  
ボルボ・カー・ジャパン社の木村隆之社長肝入りのプロジェクトとしてはじまった“クラシックガレージ”は日本独自の取り組み。コンディションのよい(ボルボ)車をレストアして販売するほか、レストアについても専任スタッフが個別に対応してくれる。ちょっと前に流行った240ワゴンや780クーペなどを探してみるのも一興。長く乗り続けるための相談にも乗ってもらえる。



〈メルセデス・ベンツ〉/ ヤング・クラシック リフレッシュプログラム  
可能な限りオリジナルに近い状態にリフレッシュ!  
〈メルセデス・ベンツ〉では20-30年前に販売されていたクルマを“ヤング・クラシック”と呼んでいて、リフレッシュサービスを提供している。それらのクルマの新車整備を行っていたスタッフが中心となって、当時の故障診断機や技術資料を用いて作業に当たってくれるのがなんとも心強い。また、長く乗り続けたオーナーへの走行距離ごと、保有期間ごとの表彰制度も実施されている。



**Celebrity**  
お洒落セブの愛用アイテムや海外のホットなインタビュー記事も!

**Travel**  
今度のバカンスはどこへ行く? 今訪れたい世界のリゾートやホテルなどを紹介



**Watch**  
手元を彩る大人にふさわしい時計やひと味違う限定モノもいち早く!

# 雑誌『Safari』の公式ライフスタイル・WEBメディア Safari Online

<https://safari-online.jp>

Safari Onlineは、LAセブのようなラグジュアリーかつアクティブなライフスタイルをベースとしたファッション、グルメ、旅、クルマ、時計、美容など大人に欠かせないピックや最新情報を毎日更新。雑誌にはないWEBだけのオリジナルコンテンツやスペシャル動画などが満載!



**Fashion**  
カジュアル上手な大人に見える着こなしポイントやトレンドがわかる



**Gourmet**  
2人の距離がグッと近づく最旬グルメやじっくり味わいたいお酒なども!



**Car**  
好奇心を刺激するエクスクルーシブなクルマ情報や特別試乗会もご案内

**NEWS**  
LINE公式アカウントができました!  
Safari Online公式アカウントをLINEアプリの「友だち」に登録すれば、お手持のスマートフォンやタブレット、PCなどの端末に、本サイトのダイジェスト版が届く! LINEでも手軽に「オフタイム活性化」できる最新情報を、チェック!  
ココからアクセス!

## 雑誌『Safari』の公式オンラインストア Safari Lounge

<https://safilounge.jp>

Safari Loungeでは誌面掲載アイテムを中心に種類豊富な商品をご用意。ここでしか買えない別注や限定アイテムも目白押し! スマホアプリをダウンロードすれば買いたい物はもちろん、アプリ限定のイベント告知やクーポンなどスペシャル情報も得られる。

サファリ ラウンジ公式アプリ  
ココからアクセス!

LINE Add Friend! サファリ ラウンジ公式LINEアカウント  
ココからアクセス!



# Safari

を読むなら、  
定期購読をおすすめします!

お近くに書店がない、買いに行く時間がないなど書店でのお求めが難しい方に、毎月発売ごとに「Safari」がお手元に届く便利な年間購読をご案内いたします。



## 特典は、たっぷり2週間使える化粧水のサンプルボトル!

(ラボ シリーズ)は1987年に誕生以来、男性特有のニーズやライフスタイルに着目し先進のテクノロジーで製品開発に取り組んでいる。高級メンズ化粧品No.1(※)ブランド、その代名詞ともいえるロングセラーアイテムとSafari定期購読がセットで登場! 右の「ウォーター ローションRE」は肌に必要な水分を補給し、持続的な潤いをサポートしてくれる化粧水。乾燥を防いで清潔な肌へ導いてくれる。また、左の乳液「エイジ R+」はハリと弾力のある肌へ導いてくれる。男性にも使いやすいサラッとしたテクスチャー。これを日々のケアに取り入れれば、大人の男に欠かせない清潔感が自然と漂うはず!

※マーケティング調査(百貨店におけるメンズスキンケア市場2010年~2016年 セルゲイン)



**Safariとは?**  
海が大好きな大人のために、カリフォルニアのライフスタイルを提案する男性ミドルエイジ誌。ラグジュアリーなカジュアルファッションを中心に、グルメ、時計、食、旅行など幅広いジャンルを紹介する。毎月24日発行。

## 創刊15周年記念 LAB SERIES ロングセラーセット!

1年定期購読(12冊) ———— **¥9840**  
ラボ シリーズ  
エイジR+ 50ml ———— **¥6900**  
ラボ シリーズ ウォーター  
ローション RE 50ml ———— **サンプル**

新規申し込み  
300名様  
限定

**41% OFF!**  
(¥6900相当)

~~¥16740~~ ⇒ **¥9840**

※ギフト商品はご入金確認後3~4週間ほど、本誌とは別送でお届けの予定です

定期購読のみお申し込みの場合

定価¥820×12冊= **¥8200(税込)** **16% off**  
¥9840のところ

日之出出版公式オンラインストア

WEBで <https://hinode.co.jp/sfc/4>

●支払い方法はクレジットカード、払い込み(郵便局・コンビニ)のいずれかをお選びいただけます

お電話で **03-5543-1340** 日之出出版 読者購読係  
(受付時間:平日10:00~17:00)

●支払い方法は払い込み(郵便局・コンビニ)のみとさせていただきます  
●払い込み(郵便局・コンビニ)の場合、手数料として別途150円がかかります

- 【ご注意】
- 配達・配達手配状況により、発売日にお届けできない場合があります。ご了承の上、お申し込みください。
  - お届けは日本国内に限らせていただきます。日之出出版オンラインストアでの会員登録が別途必要になります。
  - こちらのご案内に記載されているスペシャルセットは、予定数量を超えた場合は終了となります。
  - 増刊号は年間購読の対象外となります。■支払い方法で払い込みを選択いただきましたお客様につきましては、弊社より別途請求書発行させていただきます。請求書到着後、14日以内に郵便局もしくはコンビニエンスストアで払い込みをお願いします。■お申し込みのタイミングによっては、発売日にお届けできない場合や、ご希望の開始号からお届けできない場合がございます。■購読期間中の中途解約は承っておりませんので、あらかじめご了承ください。
  - お申し込みの際にご記入いただくお名前、ご住所、メールアドレスなどの個人情報は日之出出版にて管理し、購読誌のお届けや定期購読サービスの提供に必要な業務連絡に使わせていただきます。またそれ以外に、弊社からの各種ご案内(イベント・刊行物・プレゼントなど)やアンケートのお願い、皆様にとって有益と思われる弊社および広告主などの製品やサービスのご案内をお送りする場合がございます。利用目的にご同意のうえ、お申し込みください。日之出出版の個人情報保護方針につきましては右記ウェブサイトをご覧ください。 <https://hinode.co.jp/privacypolicy/>



## 大人セレブのお洒落の秘密! “流行のセレブ”のSNAPから最旬ファッションをPICK UP! 春夏、一番カッコいい グラマラスな女でいこう!

**Safari** 特別編集 **ウーマン・セレブリティ・スナップ vol.14** **890YEN(税込)**

全国書店・インターネット書店で好評発売中! 日之出出版公式オンラインストアでもお求めいただけます。  
<https://hinode.co.jp/stp>

UrbanSafari 38

Lovely

# SAKURA SWEETS\*

桜アフタヌーンティーで優雅なお花見の気分を味わおう。

桜開花の便りが届きはじめる頃。華やかな気分を盛り上げてくれるのがホテルの期間限定“桜アフタヌーンティー”。贅沢な気分ですと足先に春を満喫してはいかが?

文=糸田麻里子 text: Mariko Itoda



## Hotel Chinzanso Tokyo ル・ジャルダン

“ル・ジャルダン”では、幻想的な夜桜観賞とあわせて楽しめる、1日20食限定の“桜イブニングキュートティー”が登場。英国式アフタヌーンティーに“和”のエッセンスをとり入れた、遊び心あふれるスイーツや軽食が10種以上。さらに紅茶は約20種類の茶葉から、取り替えたり、もちろんお代わりも自由。このホテルならではの、広大な庭園に順々に咲き誇る20種約120本の桜を愛でながら、特別なひとときを堪能したい。

桜イブニングキュートティー 開催場所:ル・ジャルダン(ロビーラウンジ) 期間:2018年2月15日~4月8日 時間:18:00~20:30L.O. 料金:3000円 税込み、サービス料10%別 <https://hotel-chinzanso-tokyo.jp/>



## InterContinental Tokyo Bay ニューヨーククラウンジ

“桜&苺のアフタヌーンティー~“WA”お重スタイル”では、モダンフレンチ“ラ・プロヴァンス”料理長吉本シェフ特製のスープやアミューズのほか、お重に盛られたオリジナルの桜スコーンや桜エクレア、苺モンブランなどのスイーツを存分に楽しめる。ドリンクも緑茶、ほうじ茶や紅茶など20種類と盛りだくさん。個性豊かなデザインのシャンデリアや煙びやかな調度品があらわれた空間で、優雅な時間を楽しんで。

桜&苺のアフタヌーンティー~“WA”お重スタイル 開催場所:ニューヨーククラウンジ By インターコンチネンタル 東京ベイ 期間:2018年3月1日~4月15日 時間:11:00~20:00L.O. 料金:3333円(平日)、3833円(土、日、祝日) 桜-サービス料13%別 [www.interconti-tokyo.com/](http://www.interconti-tokyo.com/)



## The Ritz-Carlton Osaka ザ・ロビーラウンジ

大阪城公園や毛馬桜之宮などの桜の名所からもほど近い、ザ・リッツ・カールトン大阪。期間限定の“さくらアフタヌーンティー”は、伝統的なアフタヌーンティーとともに、エグゼクティブペストリーシェフ松尾浩幸監修の桜をテーマにしたスイーツとセイヴォーリー(軽食)を堪能できる。グルメショップでは3月5日から桜シュークリームや桜生どら焼き、桜モンブランなど、桜をテーマにしたスイーツを展開するなど、早くも桜満開!

さくらアフタヌーンティー 開催場所:ザ・ロビーラウンジ(1F) 期間:2018年4月1日~4月30日 時間:11:00~19:00 料金:4900円 税・サービス料15%別 [www.ritz-carlton.co.jp/](http://www.ritz-carlton.co.jp/)



## Grand Hyatt Tokyo フレンチ キッチン

オールデイ ダイニング“フレンチ キッチン”の新メニュー“桜&ストロベリーアフタヌーンティー”は、スモークサーモンとディルクリームのはったプリニ(小さなパンケーキ)や、さくら海老キッシュなどの軽食のほか、さくらティラミス、さくらブランマンジェやスコーンなど、春らしいスイーツを好きなだけ楽しめる魅惑的なプラン。LA発のプレミアムオーガニックティーブランド“ART OF TEA”社の紅茶の豊かな香りとともに満喫したい。

桜&ストロベリーアフタヌーンティー 開催場所:フレンチ キッチン(2F) 期間:2018年3月12日~4月15日 時間:15:00~17:30(90分制、16:00L.O.) 料金:3800円(平日)、4200円(土、日、祝日)~ 税・サービス料別 <https://www.tokyo.grand.hyatt.co.jp/restaurants/>



## Conrad Osaka 40スカイバー&ラウンジ

コンラッド大阪の“桜アフタヌーンティー”は、格子模様可愛いイギリス菓子“バットンパーグケーキ”やヴァローナ社のチョコレートを使用した“ラズベリーとチョコレートのドーナツ”などのデザート6種+3種類の軽食を、コンラッド・アフタヌーンティーのアイコンでもある赤い漆の和華箆モチーフのティースタンドで提供。ドリンクはTWGブランドの紅茶や期間限定の桜フレーバーティーなど、16種類から選べる。

桜アフタヌーンティー 開催場所:40スカイバー&ラウンジ(40F) 期間:2018年3月1日~4月15日 時間:11:00~18:30(11:00~13:00~、15:30~の3部制、各2時間制) 料金:4000円 税・サービス料別 <http://www.conradosaka.jp/>